

第3回運営推進会議を行いました

ふきのとうなどの地域密着型サービスの施設には、2か月に1回程度で「運営推進会議」を行う事が義務付けられています。

「運営推進会議」とは、ケアサービスの質の向上や地域に開かれた事業運営を確保する観点から、ご入居者・ご利用者やそのご家族、地域住民の代表者（自治会長・民生委員・老人会会長など）、市職員、地域包括支援センター職員等により構成され、日々の活動報告をし、評価を受けるとともに、ご要望や助言をいただく機会としています。

12月6日（土）に行われました、「第3回運営推進会議」は、昼食会を行いながら、ご入居者・ご利用者に普段食べて頂いている食事を、参加された皆様に食べて頂き、ご感想を頂きました。当日のメニューは、「ご飯、澄まし汁、手羽先の醤油煮、切干大根の煮物、ビーフシチュー、大根の酢の物、金時あん、みかん」と豊富でしたが、1品ずつの盛りの量は、控え目にし、見た目と食を味わう満足感を頂けたのではと思います。

ふきのとうのご入居者・ご利用者の皆様は、日々の食事を「美味しい」と言われ、よく食べられます。「食べ力は生き力」とあるよう、食事を通して健康維持に努めて参りたいと思います。

（甲野 雄司）

